

○安静心電図(標準 12 誘導心電図)

ベッドに横になっていただき、安静時の心電図を記録する検査です。

手足に 4 カ所・胸部に 6 カ所、電極(クリップやシール、吸盤など)をつけ、心筋の活動時に発生する微弱な電流を計測し、波形にあらわして記録します。

波形の異常や、脈の乱れを見つけることができ、心筋梗塞や心臓肥大、不整脈などがある患者さんに対して検査を実施し、その後の経過観察も行うことができます。

また、手術を予定されている患者さんの心臓に問題がないかを確認するために、術前検査のスクリーニング検査の 1 つとしても行われています。

検査時間は、更衣も含めて 5～10 分程度です。



○ホルター心電図

シール電極を数枚胸に貼り、小さな機械を腰に装着して心電図を 24 時間記録します。機械を装着したままいつもの生活を送っていただくことで、1 日の不整脈や虚血の有無、心電図の変化を調べることができます。運動や入浴していただくことも可能です。1 日の行動内容や自覚症状の有無・時刻などを記入する行動記録カードをお渡ししますので、ご協力をお願いします。

装着にかかる時間は、説明や更衣も含めて 15 分程度です。

当院では 24 時間のホルター心電図検査のほかに、2 週間のホルター心電図検査も行っています。

○負荷心電図

歩行や階段昇降などの運動によって心臓に負荷をかけ、安静時では見られない心電図変化を見る検査です。運動前後の心電図の比較や、運動中の心電図のモニタリングをすることができます。

当院では、トレッドミル、エルゴメーター、マスター2 階段の3種類を行っています。

<トレッドミル>

動くベルトコンベアの上を歩いたり、走ったりします。段階的に速さや傾斜が変化します。

<エルゴメーター>

固定式の電動自転車を一定の速さで漕ぎます。

<マスター2 階段>

2段ある階段を昇り降りしていただきます。回数は年齢・性別・体重から算出します。

身体に負荷をかける検査ですが、検査中は患者さんの状態変化に十分注意し、変化があった場合にはすぐに対応できるように体制を整えておりますので、安心してお越しください。



トレッドミル



マスター2 階段